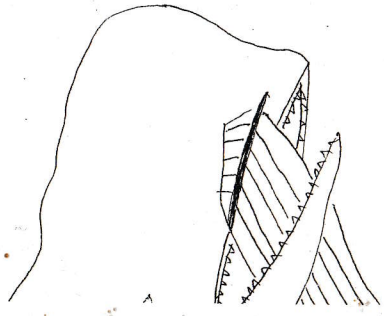
本の旅 12月号

白鯨　著　ハーマン・メルヴィル

クジラの油が高値で売れた時代、人々は金儲けのために船に乗り海へ出る。ただ、エイハブ船長一人を除いて。彼の目的は、片足を食いちぎった白鯨に復讐すること。はたして、白鯨を仕留めることができるのか無事に陸に戻ることができるのか。



カラマーゾフの兄弟
著　ドストエフスキー

傍若無人で自分勝手な、おおよそ父親とは呼べないようなフョードルと、その父と同じような怠惰な生活を繰り返す、よく言えば素直で悪く言えば直情型な長男ドミートリィ。神を信じてはいるものの神がいないと信じきれずにいる無神論者のイワン。修道院に身を預ける、真面目な性格から誰からも愛される三男のアレクセイ。そして使用人、この中の誰かに父は殺された。犯人は誰か、その真実とは一体。

走れメロス　著　太宰治

王によって捕まり処刑が言い渡されたメロス。このままでは妹の結婚式に行けない、そこでセリヌンティウスを身がわりにし三日間の猶予を貰う。三日後の処刑に間に合うために、走れメロス！